

熱機械分析装置

TMA (Thermo Mechanical Analysis)

原理

試料を加熱した際に起こる長さの変化を測定する。プローブを選択することで目的に応じた測定が可能。さらに、SSモードで測定することで応力-歪曲線を求めることができる。

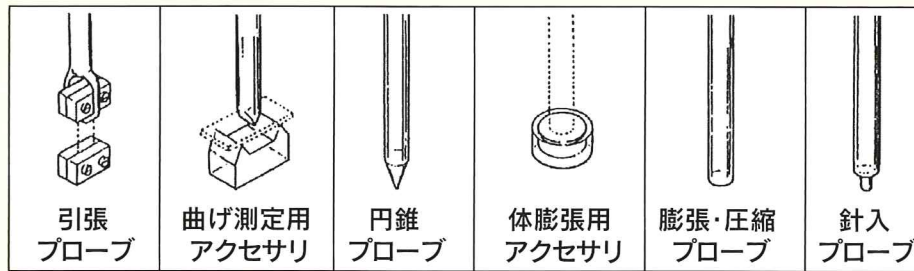
仕様

測定温度範囲：-150℃～600℃

最大試料形状：ブロック 8mmφ×20mm

フィルム 1mm×4mm×20mm

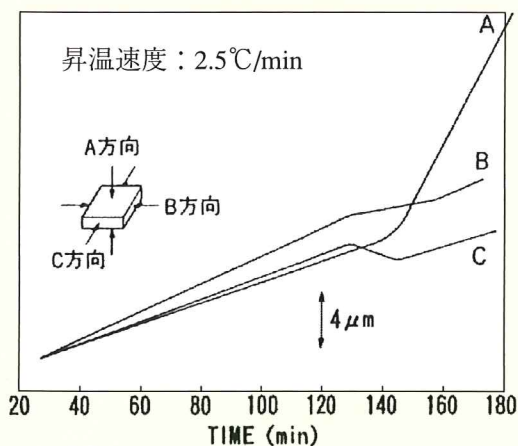
各種プローブ



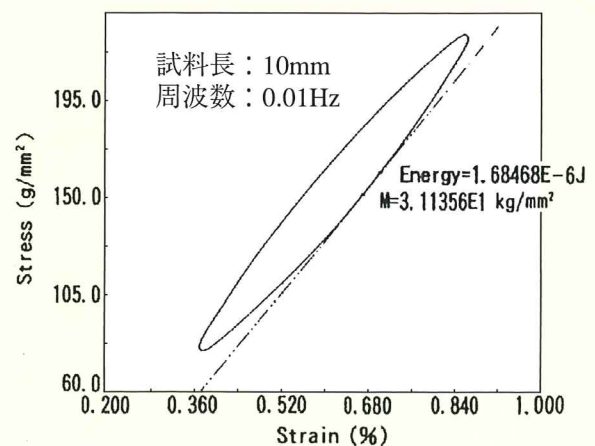
特長

各種高分子の線膨張率、軟化点、ガラス転移温度、フィルム伸長率を解析することができる。

プリント基板の熱膨張測定



ポリエチレンの応力・歪曲線



株式会社 三井化学分析センター

<http://www.mcanac.co.jp>

営業部 ☎ 03-5524-3851